

「単純ヘルペスウイルス角膜炎」のため当院に通院された患者さんの診療録を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

当院では、ご病気で通院された患者さんの診療録を用いた以下の医学系研究を実施しますので、ご協力をお願いいたします。本研究にあたっては、京都市立病院臨床研究倫理審査委員の承認及び病院長の許可のもと、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針及び法令を遵守して患者さんのプライバシー保護に留意して実施します。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「⑬お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

①研究課題名	日本全国における単純ヘルペスウイルス角膜炎の実態調査及び関連要因の解明
②実施期間	2026年06月15日～2030年03月31日
③対象となる方	2010年01月01日より2024年12月31日までの間に、眼科において、単純ヘルペスウイルス角膜炎の治療のため通院し、治療を受けた方
④研究実施機関及び研究責任者	<p>研究代表施設および研究代表者：鳥取大学医学部附属病院 眼科教授 宮崎 大</p> <p>研究実施機関および研究責任者</p> <p>京都市立病院 眼科部長 鈴木 智 いしづち眼科 院長 鈴木 崇 医療法人三間眼科医院 院長 三間 由美子 大分大学医学部附属病院 助教 中野 聡子 倉敷成人病センター 副院長 岡野内 俊雄 近畿大学奈良病院 講師 高橋 彩 群馬大学医学部附属病院 准教授 戸所 大輔 広島大学病院 講師 福戸 敦彦 筑波大学附属病院 講師 長谷川 優美 東京大学医学部附属病院 准教授 宮井 尊史 東京医科大学病院 講師 成松 明知 東京女子医科大学八千代医療センター 准教授 篠崎 知美 東京歯科大学市川総合病院 教授 山口 剛史 東邦大学医療センター大森病院 教授 堀 裕一 富山大学附属病院 講師 宮腰 晃央 福岡大学病院 講師 川村 朋子 府中アイセンター センター長 下村 嘉一 藤田眼科 院長 藤田 敦子 南松山病院 院長 篠崎 友治</p>

	<p>宮田眼科東京 副院長 高瀬 博 宮田眼科病院 副院長 子島 良平 よしかわ眼科医院 院長 吉川 大和 ルミネはたの眼科 院長 秦野 寛 TMG あさか医療センター センター長 木全 奈都子 白井病院 院長 宇野 俊彦 にしこく眼科 院長 宮永 将</p> <p>*この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しています (URL : http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/introduction/3107/)</p>
<p>⑤本研究の意義、 目的、方法</p>	<p>全国の眼科医療機関において、単純ヘルペスウイルス角膜炎の診断を受けた患者さんのカルテや診療報酬明細書（レセプト）から情報を集め、日本全国で単純ヘルペスウイルスによる角膜炎がどれくらい発症あるいは再発しているのか、またどのような治療法が優れていたのかを調べることを目的としています。さらに、発症や再発に気象や大気汚染が影響していたかも調査します。</p> <p>鳥取大学医学部附属病院眼科および当院を含めた研究実施機関において、2010年1月1日から2024年12月31日の期間に単純ヘルペスウイルス角膜炎と診断された症例、およびレセプトにおいて単純ヘルペスウイルス角膜炎及び虹彩炎の病名がある症例（各施設あたり20例、28施設）を対象とします。レセプトデータから単純ヘルペスウイルス角膜炎を正確に調査できる基準をつくります。次に、全国のレセプトデータに記載されている匿名化レセプトデータ（最大20000人）を対象に調査を行います。この調査は、有病率、再発、治療の種類などを含みます。また、レセプトから推定される医療機関の地域情報を用いて気象条件や大気汚染状況との関連を調査します。</p>
<p>⑥使用する資料・情報 及び協力をお願い する内容</p>	<p>診療録から以下の項目を集めさせていただきます。</p> <p>【患者さんの情報】</p> <p>眼科病名及び単純ヘルペスウイルス角膜炎の病型 レセプトにおける病名 年齢、性別 単純ヘルペスウイルス角膜炎再発の有無および再発までの期間 期間中の再発回数 治癒日あるいは中止日 経過中使用された抗ウイルス薬及びステロイドの種類、用量、期間 単純ヘルペスウイルス角膜炎発症時の緑内障治療薬の有無と種類 レセプトに記載された検査、処置、麻酔、投薬 レセプトにおける居住区域（病院の所在地で代替）</p> <p>【環境因子】</p> <p>地域別の気象データ（気温、湿度）、大気汚染物質（微小粒子状物質（SPM）、</p>

	<p>微小粒子 (PM2.5)、一酸化窒素 (NO)、二酸化窒素 (NO₂)、窒素酸化物群 (NO_x)、二酸化硫黄 (SO₂)、一酸化炭素 (CO)、オキシダント、メタン)</p> <p>*収集するデータは、機器の進歩や解析過程で追加されることがありますが、増加する場合は再度その旨公開いたします。</p>
⑦臨床研究倫理審査承認日	2026年06月15日
⑧研究計画書等の閲覧等	本研究計画書及び研究の方法に関する資料は、他の研究対象者等の個人情報、知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。 詳細な方法に関しては「⑬ お問い合わせ」にご連絡ください。
⑨結果の公表	研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人が特定される情報はすべて削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。
⑩プライバシーの保護について	<p>患者さんの情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。また、氏名、カルテ番号など、直ちに個人を識別できる個人情報は『匿名化』され、本研究では匿名化された情報を使用、提供します。このようにして患者さんの個人情報の管理については十分に注意を払います。収集されたデータは、政府の定めた「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律についてのガイドライン」にもとづき、特定の個人の識別や復元ができないように処理をした上で、暗号化されたデータを格納した USB などの携帯型記憶メディアもしくは高いセキュリティを持った SINET 等の回線を介して鳥取大学に送られます。データの収集やアクセスの管理については国の医療情報管理指針などを参照して厳格に行います。</p> <p>『匿名化』について：本研究にご提供いただく情報については、患者さんの指名、住所、電話番号、カルテ番号など、患者さん個人を直ちに特定できるような情報をすべて削除し、代わりにこの研究用の登録番号をつけます。なお、研究の過程で情報がどの患者さんのものかを知る必要がある場合も想定されます。その場合に備えて、情報と患者さん個人を結びつけることができる対応表を作成させていただきますが、この対応表は研究責任者によって鍵のかかる保管庫で厳重に管理されます。</p>
⑪研究の資金源	本研究は、日本眼感染症学会研究費、文部科学省科学研究費（申請中）及び鳥取大学医学部附属病院眼科の研究費で行っております。
⑫利益相反	本研究を実施するにあたり、開示すべき利益相反はありません。
⑬お問い合わせ	本研究に関する質問や確認のご依頼は、以下へご連絡ください。 また、本研究の対象となる方又はその代理人（ご本人より本研究に関する委任

を受けた方など) から、診療データ収集の停止を求める旨の申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も以下へのご連絡をお願いいたします。

研究責任者 : 鈴木 智

京都市立病院 眼科

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1の2

TEL : 075-311-5311(代) 平日 8 : 30 ~ 17 : 15